

## 1 調査対象者・調査日

## (1) 保護者

三者懇談時に、保護者全員の方に担任経由で依頼し、295人（28年度231人）の方から回答をいただいた。

（調査日：7月12日から19日、回答率；84.8%）

## (2) 生徒

生徒全員にSHR、LHRの時間を利用して調査を実施し、341人から回答を得た。

（調査日：7月1日から20日、回答率；97.9%）

## 2 アンケート票の見方

(1) 上段太字の数字は平成29年度、下段の数字は平成28年度のデータである。

(2) 評価平均点は、評価Aを4点、評価Bを3点、評価Cを2点、評価Dを1点、評価Eを0点とした項目毎の平均である。

## 3 分析結果

大項目毎の全体のA評価（よくあてはまる）とB評価（ややあてはまる）の合計（以下「肯定的評価」という）は、次の表のようである。（黄色は昨年度より高評価のもの）

大項目 \ 対象	保護者 295人（231人）	生徒 341人（349人）
① 教育方針・学校経営	86%（87%）	88%（80%）
② 家庭との連携	81%（80%）	71%（68%）
③ 教職員	90%（87%）	83%（75%）
④ 学習指導	90%（84%）	83%（76%）
⑤ 生徒指導	83%（81%）	88%（82%）
⑥ 進路指導	88%（86%）	88%（82%）
⑦ 健康管理・安全指導	86%（82%）	87%（74%）
⑧ 学校行事等	84%（83%）	77%（72%）
⑨ 学校独自項目	86%（83%）	82%（76%）
全項目	86%（83%）	84%（76%）

（ ）内は前年度

## (1) 保護者

全ての大項目が8割を超えるなど、昨年度までと同様に保護者からの高い評価が続いている。「教育方針」「教職員」「学習指導」「進路指導」「健康安全・安全指導」「学校独自項目」においては肯定的評価が85%を超えており、家庭との連携を深めながら生徒一人一人に応じた指導を推進してきたことが評価に表れているといえる。

- ① 「教育方針・学校経営」「家庭との連携」については、一昨年度から昨年度に大幅に評価が上昇したために、本年度は評価の高かった昨年度とほぼ同じような結果となっている。今後はさらに機会をとらえて学校の指導方針等をわかりやすく伝えていきたい。また、今後も保護者はもとより地域の方たちにも八百津高校のよさをアピールしていきたい。
- ② 「教職員」については、5項目全ての平均の評価が向上しており、今回のアンケートの中で昨年度と比べ最も高い伸び率であった。中でも「一斉配信メールシステム（すぐメール）」については大幅に評価が高くなっており、今後もすぐメールの有効な利用を心がけたい。保護者のさらなる登録も促していきたい。また昨年度、課題であった「学年通信」などの見直しを図った結果、本年度は評価が上がっている。いずれの項目も、本校の教職員の日々の丁寧で熱心な対応が高く評価されていると考えられる。今後も魅力ある学校づくりに全職員で取り組みたい。
- ③ 「学習指導」については、全体としては向上している。昨年度高く評価された「一人一人の生

徒の能力に合わせた指導」について、今年度はさらに高い評価となった。今後も選択授業や少人数授業により生徒の理解を高めていく指導体制を大切にしていきたい。

- ④ 「生徒指導」については、5項目の内4項目で評価の向上が見られた。評価が下がった項目「服装・頭髪の指導」についてはさらなる指導を継続していきたい。いじめや差別への厳しい対応や、体罰を未然に防止する研修等を充実させていき、保護者と学校が一体となった指導を今後も進めていくように配慮していきたい。
- ⑤ 「進路指導」については、昨年度と同等の評価であった。今後もデュアルシステムの進捗状況など、学年に応じた進路情報の提示などにより各学年段階での進路選択についての働きかけを進めていきたい。
- ⑥ 「健康管理・安全指導」については、評価が向上している。特に「地震・台風の対応について」は高い評価を得た。今後もさらに、生徒一人一人が状況に応じて考えながら行動できるように、日常の活動から防災教育の視点で危険予知能力の向上を図っていきたい。
- ⑦ 「学校行事等」においては、5項目すべてで評価が僅かながら向上している。昨年度5項目すべての評価の向上が大きく見られ、今年度は僅かな向上となった。様々な活動の過程を通して生徒自身が成長を実感できるようにしていきたい。
- ⑧ 「学校独自項目」についても、6項目全てにおいて評価が向上している。昨年度6項目すべての評価の向上が大きく見られたが、今年度も評価が向上した。項目の「資格の取得」「中高一貫教育」への評価が高く、普通科高校でありながら社会人としての自立を育てる取組や14年目となる中高連携が高く評価されていることが分かる。今後も地域の期待を受けて、中高連携を進めていきたい。

## (2) 生徒

例年、生徒の評価は全体的に厳しい傾向にあった。昨年度は8割を超える高評価は3項目にとどまったが、今年度は9項目中7項目が8割を超える高評価となった。また、本年度は全ての項目で昨年度を上回る高評価を得た。

- ① 「教育方針・学校経営」については、3項目ともに昨年度の評価を上回っている。今後も学校の基本方針が生徒にも理解され受け入れられていくように、機会をとらえて伝えていきたい。本年度は特に「本校に入学できて良かったと思っている」の項目がどの学年の生徒についても高い評価を得ている。卒業時にも多くの生徒が、本校のキャッチフレーズである「自分を変えられることができる学校」だったと自覚して巣立つことができるように職員一丸となって日々の教育に当たっていききたい。
- ② 「家庭との連携」についても、3項目全てにおいて向上が見られ、さらに昨年度に比べて高い伸び率であった。全体としても高評価となっている。昨年度からのHPのリニューアルに伴いその認知度も高まり、さらに今年度から力を入れている「いま八百津高校では」の定期的な発行も功を奏していると考えられる。今後も八百津高校の魅力や現状を様々な形で発信していきたい。
- ③ 「教職員」についても、4項目全てで向上が見られる。特に「授業の教え方」の項目での伸び率が高い。今後も授業改善のみならず、思いを素直に出し合える教師と生徒の関係作りに重点を置き、生徒の不安や悩みに寄り添った指導を推進していくことで、「悩みや相談事への親切な対応」などのさらなる向上を図っていききたい。
- ④ 「学習指導」についても、4項目全てにおいて昨年度の評価より上がっている。今後も生徒自身に学力向上の意義を感じさせて、評価をさらに伸ばしていきたい。また総合的な学習の時間についても、活動のねらいをきちんと理解させて取り組ませることを重視していきたい。
- ⑤ 「生徒指導」については、4項目中3項目で昨年度の評価より上がっている。特に「いじめへの対応」「体罰」の項目については高い伸び率である。全体としては高い評価となっているが、評価が下がった「服装・頭髪の指導」については、今後はさらに一人一人に応じた服装・マナー指導を推進し、日常の姿が自分たちの進路実現に結びつくことを実感させていきたい。
- ⑥ 「進路指導」については、どの項目も昨年度より評価を上げている。企業実習や選択教科に向けた指導など、各学年の自己決定する節目をとらえ、一人一人に将来どんな職業に就きたいのか、そのために今何に取り組まなければならないかを考えさせる指導を今後も学年に応じて進めて

いきたい。

- ⑦ 「健康管理・安全指導」については、昨年に比べ全ての項目において大きく評価を上げている。学校行事等と関連付けながら健康管理・安全指導について働きかけを行ってきた結果であろう。また、保護者同様に評価の高かった災害時の対応マニュアルの徹底した説明と実施を今後も続けていきたい。
- ⑧ 「学校行事等」については、ほとんどの項目で昨年度より高い評価を得たが、二つの項目「校内清掃」「施設・設備」で昨年度を下回った。2項目ともに昨年度評価が上がったが、本年度は下がっている項目である。生徒全員掃除にしたにもかかわらず評価が下がったのは残念である。日々の生活の中で環境美化を訴えていきたい。  
「生徒会活動」については高い評価を得ることができた。これは特別活動部を中心とした日々の生徒への指導が功を奏したと考えられる。今後も是非続けていきたい。
- ⑨ 「学校独自項目」については、全ての項目が向上した。特に「キャリア教育」「資格取得」「中高一貫」の3項目について高い伸び率であった。今後も本校の特色の両輪である「デュアルシステム」と「連携型中高一貫教育」について検討・改善を図り、さらに魅力ある学校づくりに取り組んでいきたい。